１１月　ねんちょうだより



岐阜市大門町１番地　聖徳保育園

きれいに色づいた落ち葉が風に舞う秋空の下、子どもたちは好奇心いっぱいに遊んでいます。寒さも深まり、冬が近づいていることを感じる今日この頃です。先月の秋の遠足では、バスに乗って梅林公園へ行き、芝生の広場で運動あそびをしたりＳＬを見たり、お弁当やおやつを食べたりと楽しい思い出となりました。友達同士の結びつきも深くなり、仲間と共通の目的をもって遊ぶ姿が増えてきました。お互いの遊びのイメージを伝え合い、遊びが広がっていくように見守っていきたいと思います。

ねらい

☆気候の変化に応じて、一人一人の健康状態を把握し、健康で快適に過ごせるようにする
☆食事をすることの意味がわかり、楽しんで食事や間食をとるようにする
☆様々な遊びを通して、自分なりの想像をふくらませながら表現する楽しさを味わう
☆自然の変化の不思議さや美しさに気づいたり、自然物に興味や関心をもつ

今月の予定

２日（月）リズムあそび
３日（火）文化の日
　子ども虐待防止推進
　全国フォーラム with ぎふ
　（年長児参加）
４日（水）誕生児写真撮影
５日（木）体育あそび
７日（土）園内外消毒
９日（月）発育測定
１０日（火）English Lesson
　すくすく親子教室
　年長組懇談
１１日（水）記念写真撮影
　年長組個人懇談
１２日（木）体育あそび
１３日（金）本堂参拝
　七五三くす玉持ち帰り
１４日（土）園内外消毒
１６日（月）リズムあそび
１７日（火）すくすく親子教室
　精華中学校職場体験
１８日（水）誕生会
１９日（木）体育あそび
　中央中学校職場体験
２１日（土）園内外消毒
２３日（月）勤労感謝の日
２４日（火）English Lesson
　すくすく親子教室
２５日（水）避難訓練
２６日（木）体育あそび
２８日（土）園内外消毒
３０日（月）保育参観

七五三

１１月１５日は七五三。子どもたちの健やかな成長を願う行事です。昔は七歳までは病気にかかりやすいと言われていたため、無事に子どもたちが育ったことに感謝し、お祝いをしたそうです。

また、ちとせあめは、「１００さいまでいきるように」との願いが込められているそうです。保育園では、子どもたちが一人一人大きくなったお祝いのくす玉を作って持ち帰ります。楽しみにしていてください。





運動会



運動会に参加していただき、ありがとうございました。先生や友達と「もう少しで運動会だね！」と期待を膨らませて当日を迎えました。

子どもたちがお家の人と一緒に行うことを楽しみにしていたデカパンリレーでは、嬉しそうに笑顔で走る姿が印象的でした。体育あそびで行っている跳び箱や鉄棒に力いっぱい挑戦したり、パラウェーブでは、友達と声を掛け合いながら協力して一つ一つの技を成功させる姿に感動しました。リレーではクラスのみんなで協力することや競争心も芽生え、真剣な表情で走る姿がとてもかっこよかったです。運動会に向けた様々な挑戦や頑張りを、お家の方の前で披露できたことで自信もつき、楽しい運動会になりました。片付けまでご協力いただき、ありがとうございました。



服装について

肌寒い季節になり、暖かい恰好で登園する子が増えています。子どもたちは寒い季節も外でたくさん体を動かし、汗をかきます。厚着をしていると汗をかき、体が冷えやすくなります。通気性の良い下着や着脱のしやすい上着を着るなど、気候に合わせて心地よく過ごせるよう配慮をお願いします。

背筋“ぴん！”

寒いとついつい背中を丸めてしまいますね。でもそれでは、心臓や胃、腸など活発に働いてくれません。また乳幼児期は背骨や、それを支える筋肉が発達する時期です。強い骨と筋肉を作るためにもいい姿勢で過ごすことを心がけましょう。背筋“ぴん！”は気持ちいいことばかりではなく、健康にもいい影響を与えるのです。

食事中のいい姿勢とは、背筋を伸ばし背もたれに背中をつける、足は床につける、体と机の間はこぶし一つくらい空ける、机に肘をつけない、食器を持つなどです。いい姿勢で食べると消化も良くなります。

栄養は『心』も育てます

食事は、栄養を摂取するだけでなく、食欲や味覚、食べ物への関心を発育に応じて広げていきます。それに伴い、「こころ」の成長にも関わってきます。幼児期は食事を通して、次のようなことができるようになります。

・おなかが空くリズムを感じることができる
・食べたいもの、好きなものが増える
・家族や仲間と一緒に食べる楽しさを味わう
・栽培、収穫、調理をして、食べ物に触れ始める
・食べ物や体のことを話題にする

あるアンケートでは、「食」の楽しい思い出は、幼児期に手作りおやつを食べたことや、一緒に作った体験などが多いとのことです。この時期、健康はもちろん、楽しく食べる力も育みたいですね。





子どもの姿

子どもたちは様々な活動を通じて、友達との関わり方や言葉のやりとりがしっかりしてきました。一緒に遊ぶグループの人数が徐々に多くなったり、リーダーシップをとる子どもを中心に集まって遊ぶようになり、共通の目的に向かって友達と協力しながら遊びが進められるようになりました。自然を身近に感じるこの時期、友達同士で試したり、工夫したりして遊びを伝え合い、一緒に作り出す面白さを感じてほしいと願い、色水遊びを楽しんでいます。

関わりの中で時には意見がぶつかることがありますが、子どもたちの思いを受けとめ、友達の思いに気づけた時には譲り合ったりすることができるように見守っていきたいと思います。